

教育職員免許法施行規則に定める情報公開について

教員養成の目標及び計画

◎幼稚園教諭としての実践的指導力を有する専門職の養成

専門的知識・技術を習得し、使命感・責任感をもって日々変化する状況に対応できる人

◎コミュニケーション能力を有する専門職の養成

共助・共栄・寛容の精神で他者とかがわることができる、社会性を身につけた人間力のある人

◎地域のニーズを理解する、あるいは地域に根ざす専門職の養成

地域固有のニーズや地域社会との連携方法を理解して、地域に貢献できる人

教員養成に係る組織・教員の数

①教員組織およびその構成

年齢 職位	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教授						1			1			2	1	3
准教授								1		2				3
講師					1	1			1				2	1
助教		1		1										2
合計	0	1	0	1	1	2	0	1	2	2	0	2	3	9

各教員の学位及び業績並びに担当授業科目

<https://www.jc-humanitec.ac.jp/teacher/>

教員の養成に係る授業科目

① 幼稚園教諭二種免許状

幼稚園の教育職員(教員)になるためには、教員免許が必要です。教員免許取得のためには、「教育職員免許法」及び、「教育職員免許法施行規則」に定められた教員養成の教育課程(教職課程)を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。教育職員免許法に基づき、所定の科目を履修することにより、幼稚園教諭二種免許状を取得することができます。

幼稚園教諭 二種免許状	基礎資格 短期大学士の学位を 有すること	本学における修得単位数		
		教養科目	教科及び教職に関する科目	
			領域および保育内容の指 導法に関する科目	教育の基礎的理解に 関する科目
		8	12	17

▼教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について以下の科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める 科目区分	単 位 数	左記に対応する開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		英語、中国語のいずれかの系列から2単位取得すること
体育	2	スポーツ・レクリエーション実技	1		
		スポーツ・レクリエーション講義	1		
外国語コミュニケーション	2	外国語コミュニケーションⅠ(英語)	1		
		外国語コミュニケーションⅡ(英語)	1		
		外国語コミュニケーションⅠ(中国語)	1		
		外国語コミュニケーションⅡ(中国語)	1		
情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1		
		情報処理Ⅱ	1		
計	8	修得単位数	8		

▼領域および保育内容の指導法に関する科目

領域および保育内容の指導法に関する科目について、以下の科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める 科目区分		単 位 数	左記に対応する開設授業科目			備考
科目区分	各科目に含めることが必要な 事項		授業科目	単位数		
				必修	選択	
領域および保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児の健康	1		
		人間関係	幼児の人間関係	1		
		環境	幼児の環境	1		
		言葉	幼児の言葉	1		
		表現	幼児の音楽表現Ⅰ	1		
			幼児の音楽表現Ⅱ	1		
			幼児の造形表現Ⅰ	1		
			幼児の造形表現Ⅱ	1		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論	1			
		健康指導法	1			
		人間関係指導法	1			
		環境指導法	1			
		言葉指導法	1			

			表現指導法	1		
計	最低修得単位数	12	本学履修単位数	14		

▼教育の基礎的理解に関する科目

教育の基礎的理解に関する科目について、以下の科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			備考
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数		
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育と社会	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法と技術	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と発達	1		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		
教育実習		5	幼稚園教育実習事前事後指導	1		
			幼稚園教育実習Ⅰ	1		
			幼稚園教育実習Ⅱ	3		
教職実践演習		2	保育・教職実践演習	2		
計	最低修得単位数	17	本学履修単位数	23		

授業の方法及び内容並びに授業計画

[syllabus-2023.pdf \(jc-humanitec.ac.jp\)](#)

卒業者の教員免許取得、教員への就職状況

令和2年3月2期生卒業生 教員免許取得 43名 学校教育等就職 12名

令和3年3月3期生卒業生 教員免許取得 52名 学校教育等就職 17名

令和4年3月3期生卒業生 教員免許取得 54名 学校教育等就職 9名

令和5年3月3期生卒業生 教員免許取得 47名 学校教育等就職 5名

教員養成に係る教育の質の向上に係る取組

① 教育実習の改善・充実・・・事前指導・実習校との連携・事後指導

教育実習に参加する学生に対しては、指導案の書き方、模擬授業等の指導を行う。教育実習期間中に、担当の教員が実習校を訪問し、実習期間中における学生の様子を聞き、指導を行う。教育実習後、授業や生活における様々な指導について振り返り、改善点を考えさせる。

② 履修カルテ・・・2年間を見通した指導

教師になる夢をもった学生が、資質や能力を身に付けた教師になれるように、大学1年次に、どのような授業を修得し、どのように学び進めることが必要かについて、1年次指導を行う。2年次までの教職の学習での記録や授業の振り返りシート等を、履修カルテに綴る。

③ 学生による授業評価アンケート・・・授業改善のためのアンケート

毎学期授業改善のためのアンケートを実施し、FDに活かしながら質の向上に努めている。